

洋画でLet's study English!

冬休みはふだんより自宅で映画を見る機会が増える人もいるかもしれません。せっかくなので、英語の勉強にも役立ててみては？相模女子大学名誉教授の曾根田憲三さんに映画から英語を学ぶ方法について聞きました。

(重政美穂)

■ネイティブの表現を知ろう

洋画を見ると、ネイティブスピーカー（英語を母語とする人）が実際に使うような、状況に最も適した表現を学べます。

日本人である私たちは、学校などで英語表現を学んでも、それらをどんな状況で使えばいいか、わからないことがよくあります。ほめる時や怒る時はどのような表現が使われるのでしょうか。ほめる時なら“I'm proud of you!”（君を誇りに思うよ!）などが使われます。

映画では、家庭生活から銀行などのビジネスの現場、大統領の演説までさまざまなシーンがあるので、日常会話から専門用語まで学ぶことができます。

■ディズニー映画でレベルチェック

まず初めに、自分が好きな洋画を日本語字幕で見ます。見終わった後に、「面白いシーンだ

ったな」「英語では何て言っていたんだろう」と思った場面を、次は英語字幕を出して見ます。わからない単語が出てきたら、意味を調べます。また、英語字幕を見ながら、声に出してまねるようにしましょう。そうすることで、リスニングとスピーキングが磨かれます。

自分のリスニング力のレベルを確かめたい時は、「アナと雪の女王」などのディズニー映画を字幕なしで見てください。50%程度聞き取れたら、ある程度は理解できているということなので、次は英語字幕で見ます。

50%に満たない場合は、次に日本語字幕を出して見ます。日本語字幕で見終わったら、自分が興味を持ったシーンを英語字幕で見るようにしましょう。

■一つの作品にこだわらない

一つの作品をすべて覚えようとせず、自分が気に入ったシーンだけを勉強するようにしましょう。それを覚えたら、次は別の映画を見ます。そうすることで、映画を見るのが楽しくなり、英語を学ぶことにやりがいを感じるようになります。自分が好きな作品であれば、ジャンルは何でもかまいません。まずは好きな映画を見て、英語に触れてみて下さい。

